
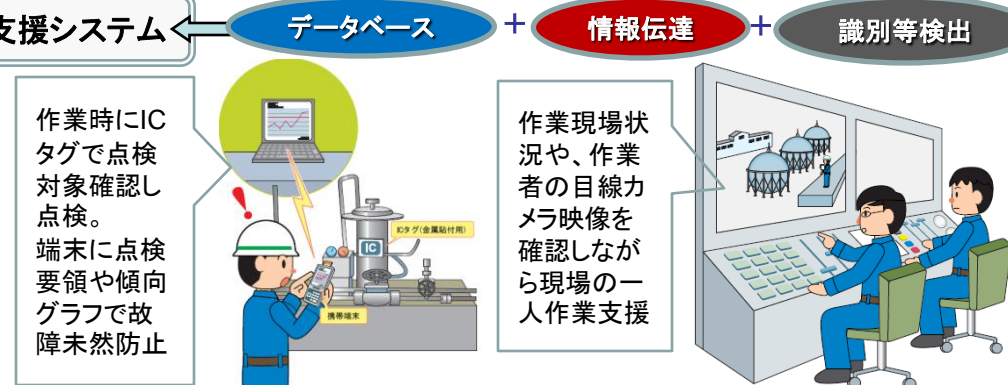



VII. 現場課題に応じたIT応用システムの例

前章はいわばITのメニューですが、現場ではこれらのメニューから必要なITを組み合わせた応用システムを検討することになります。Ⅲ章で掲げた現場のニーズを念頭に、次章以降の「ITの導入ガイド」では応用システム具体化検討の参照例として以下の4システムを挙げています。

システム名称、機能	管理的対策としてITを活用した例と狙いの効果
<p>オンラインマニュアル</p> <p>作業前に適切な作業手順作成を支援する情報支援システム。 作業中に必要な時にマニュアルを検索確認したり、教育訓練にも活用可能</p>	<p>データベース + 情報伝達</p> <p>作業前 ベテランのノウハウや、作業標準などを蓄積検索し、正しい(安全な)作業計画</p> <p>作業実行時 作業時にその場で作業手順やマニュアル図面を参照</p> 
<p>設備点検・現場作業支援システム</p> <p>対象設備の識別と作業ガイド、作業結果の受付とその場での履歴表示等で故障の未然防止対応や遠隔からの一人作業を支援するシステム</p>	<p>データベース + 情報伝達 + 識別等検出</p> <p>作業時にICタグで点検対象確認し点検。 端末に点検要領や傾向グラフで故障未然防止</p> <p>作業現場状況や、作業者の目線カメラ映像を確認しながら現場の一人作業支援</p> 
<p>過接近警告システム</p> <p>作業者の識別と、作業者が危険な設備や領域に異常接近または許可されていない領域への侵入等の作業者の状況把握警告システム</p>	<p>情報伝達 + 識別等検出</p> <p>許可された作業者以外は侵入警告</p> <p>ZigBeeタグ 加速度センサー</p> <p>ICタグなどで接近検出警告</p> 
<p>緊急時対応システム</p> <p>爆発や大規模な事故等で電源等の通常のインフラが利用できない事態で、一刻も早い対応を支援する情報及び通信支援システム</p>	<p>データベース + 情報伝達</p> <p>バッテリー電源の無線LANで音声、画像伝送し現場状況を正確に把握</p> <p>現場状況や作業者の状態と位置を把握し迅速適切な措置</p> 